

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 26-93		学校 中学校	教科 社会	種目 地図	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	1 - 3	図	カシミール地方の点線 中印国境、朝鮮半島、西サハラの点線	生徒が誤解するおそれのある図である。 (他の点線と同様に国境線であるかのように誤解する。)	3-(3)
2	7	図2	アイスランドの塗色	生徒が誤解するおそれのある図である。 (アイスランドが「安定した陸地」であるかのように誤解する。)	3-(3)
3	8	図	グリーンランド中央及び南極大陸の白塗色 27ページ 図5 台湾の緑塗色	生徒にとって理解し難い地図である。 (塗色が何を指すか示されていない。)	3-(3)
4	10	図3	東京12月の降水量 モントリオールの気温	誤りである。	3-(1)
5	18	図3	1955年の世界	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
6	23 - 24	図	青色の都市記号 25ページ 47～48ページ	生徒にとって理解し難い図である。 (4ページの凡例「州都」との関係)	3-(3)
7	27	図1	10° 0° 20° 2°	誤植である。 (気温は通常「°」という単位で表記しない。)	3-(2)
8	28	図9	日本企業の進出数(2012年)(省別)	生徒にとって理解し難い図である。 (標記の地域単位と「省別」の関係)	3-(3)
9	35	囲み2	(1) 六信五行 天明	誤植である。 (イスラム教の六信は通常「天明」と表記しない。)	3-(2)
10	35	囲み2	(5) エルサレム市街地 聖墓教会前近くの赤点線	生徒にとって理解し難い地図である。 (赤点線が何を指すか示されていない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 26-93		学校 中学校	教科 社会	種目 地図	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	36	図4	西アジア・中央アジアの農業 イランやシリアに示された「豚」の記号	生徒が誤解する恐れのある図である。 (図タイトル「・・・の農業」に照らして、イスラームのイランやシリアにおいて畜産として豚が飼育されているかのように誤解する。)	3-(3)
12	45	図3	スペイン、フランス、イタリアの外国人観光客数	生徒にとって理解し難い地図である。 (スペイン21億人、フランス11億人、イタリア14億人の外国人観光客数は理解し難い。)	3-(3)
13	53	グラフ4	主な国のODA受け入れ額	生徒にとって理解し難いグラフである。 (「ODA受け入れ額」と「うちODAによる援助」の関係)	3-(3)
14	105	図4-(2)	リニア山梨実験線	生徒が誤解するおそれのある地図である。 (1995年に、リニア山梨実験線が笛吹市まで完成したかのように誤解する。)	3-(3)
15	110	図	つくばエクスプレス	不正確である。 (守谷駅周辺の地下区間の表記)	3-(1)
16	124	図	釧路ー根室間 旭川ー和寒 深川ー沼田 釧路ー斜里	相互に矛盾している。 (127ページの鉄道記載と異なる。)	3-(1)
17	130	図5	津波の起こりやすい地域	相互に矛盾している。 (135ページの該当地域と異なる。)	3-(1)
18	143	図2	米、小麦の生産地域	ドットマップが通常の方法に従って記載されていない。 (表現方法)	3-(5)
19	155	写真4	4 独立記念館 →p. 49 6 古代都市テオティワカン →p. 49 8 シドニー・オペラハウス →p. 49	誤りである。 (当該ページには当該国が存在しない。)	3-(1)
20	159	表1	世界の国の人口、文化、経済、日本との貿易(1) 37 ブータン、38 フィリピン	誤りである。 (人口、人口密度、国内総生産)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

3 枚中 3 枚目

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-97		学校 中学校		教科 社会	種目 地図	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	18	図ク	三つの宗教の聖地になっているエルサレム (聖墳墓教会)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (線で指し示した建物が聖墳墓教会であるかのように誤解する。)	3-(3)	
2	25 - 26	図1	中国のようす (右下の断面図のA B間の距離表現)	生徒にとって理解し難い図である。 (25ページの左端中央にあるAと26ページのほぼ中央にあるBの間の距離の表現との関係に照らして理解し難い。)	3-(3)	
3	28	図9	経済の結びつき (ホンコン)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ホンコンが省・自治区・直轄市のいずれかであるかのように誤解する。)	3-(3)	
4	51	図2	ユーロ導入国 (モンテネグロ)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (EUの合意を得たユーロ導入国であるかのように誤解する。)	3-(3)	
5	55 - 56	図1	ロシア連邦内各地の標準時	相互に矛盾している。 (1-2ページの図1におけるロシア連邦の範囲に照らして相互に矛盾している。)	3-(1)	
6	58	図2	南極 (パークナー島の周囲にある複数の多角形)	生徒にとって理解し難い図である。 (多角形が何を指すか示されていない。)	3-(3)	
7	61	図1	ドミニカ国及びセントルシア	相互に矛盾している。 (57～58ページの図1に照らして位置が相互に矛盾している。)	3-(1)	
8	88	図4	竹島	生徒が誤解するおそれのある図である。 (位置の表現に不備がある。)	3-(3)	
9	110	図2	世界遺産 富士山 (北東からみた衛星画像)	生徒にとって理解し難い図である。 (高さ強調の程度について理解し難い。)	3-(3)	
10	123	図2	ヒートアイランド現象 (内陸部の気温が周辺部よりも高くなる現象)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (内陸部の気温が周辺部よりも高くなる現象がヒートアイランドの定義であるかのように誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。